

【終了報告】2025年2月15日開催

令和6年度 合同閉講式&「わたしのかあさん-天使の詩-」上映会

「子育て応援講座」「湯のまち学びのカレッジ」「みんなでべっぴん子育て Labo」の講座や事業の様子をスライドで紹介しながら一年間の学習の成果について事業報告を行いました。今回の映画は、障がいのあ
るなしに関わらず皆が幸せに生きていける社会にするためにはどうすればよいか、様々なことを考えさせ
られる作品でした。上映後のミニトークでは、この映画の音楽監督 別府市出身の朱花さんから監督との
出会いや作品への想い、撮影秘話などをお話していただきました。最後に子どもたちと一緒に主題歌「い
のちのかがやき～天使の詩～」を手話を交えながら歌い終了しました。一年間の最後の学習の場で、とて
も素晴らしい作品を観ることができ、有意義な閉講式となりました。



☆参加された方の感想の一部を掲載します

○大切なことを気づかせていただいた心あたたまるお話でした。感動だけで終わらず、何かの形で行動を起こす一歩にさせていただきたいと思います。もう一回観たいです。

○娘の高子の心の変化が映像の中で伝わってきましたが、実際はいくつもの時間がかかったらうなと思いました。高子の周りの大人たちがとても優しく理解もあってすばらしいと感じました。こんな大人たちのように自分もありたいなと、そしてそんな大人たちが増えていくことを願います。

○いろいろと考えさせられました。自分の生き方、今までの自分、これからの自分、涙してしまいました。今、ボランティアとして生きがいを感じています。命ある限りがんばろう！

○とても感動して涙がとまりませんでした。心のモヤモヤが吹き飛びました。「あなたがここにいるだけでいいよ」本当にそうだと思います。心のキレイな人になりたい！

○人と人とのつながりで何が大切なのか気づきがあり、この映画の作り手の伝えたい思いがひしひしと伝わりました。

○私は障がい者ですが、自分の出来ることを精一杯頑張って、心豊かに残された命を楽しく、生きている喜びを感じながら過ごしていきたいと思います。

○笑いあり、涙あり、面白くてジーンときて心があたたかくなりました。高子の母清子のようになれたらいいのにと痛感しました。

○小3の子どもの親です。子どもの心境の変化など考えさせられることがたくさんありました。いつもとは少し違う感じの内容でしたが楽しく見ることができました。

○私自身の子育てを思い出す映画でした。娘の反抗期に必死で向き合った日々でしたが、皆さんに支えられて社会人として送り出すことができました。子どもまんなか社会の実現に向けて社会構成員の一人として私も取り組んでいきたいです。

○一人ひとりの命、かけがえのない命、恵まれた命を輝かせて生きていく勇気をいただきました。社会のすべてが自分らしく生きていける社会を願います。本当にありがとうございました。

○生きること、自分のまわりの人たちと重ねて切なくなりましたが、愛することの大きさ、大切さを教えていただきました。



他、たくさんの感想をいただきました。ありがとうございました！



別府市社会教育課 TEL 0977-21-1587

E-mail lle-be@city.beppu.lg.jp